

第4回 まちづくり市民協議会（第3分科会）会議録

日時：令和元年11月25日（月）18時30分～

会場：市役所3階大会議室2号

出席者 委員 6人（欠席6人）
事務局 4人

1 開会

○ 事務局から開催形式等について説明

- ・今回は分科会形式で開催。本日は第3分科会。
- ・議事進行は事務局

2 事務連絡

- ・議事の進め方について
事務局から説明

3 協議事項

(1) 光市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定(中間案)について

事務局から資料に基づいて説明ののち質疑意見等

●事務局

ただ今、事務局から説明した件について、ご意見・ご質問などがあればいただきたい。

●委員

光市の地理的な特徴として、光駅が下松市側の端にあつて、市役所が光井にある。光高校と光丘高校の再編統合による新高校の場所が、現「光高校」の場所になった。光丘高校は生徒の約7割が市外から通学しているようだが、新高校が「光高校」の場所になったのでますます若者が光市に来なくなると思う。

個人的には光駅周辺、特に旧光総合病院の跡地の活用方法が気になる。若者を対象としたワークショップなども行われたようだが、具体的な動きが見えてこない。

光市のことを考えると、もっと外から人を呼び込むような魅力づくりが必要。光市には海と山など豊かな自然があり、冠山総合公園の梅やバラなど、良いところもたくさんあるのに、うまくPRできていないと感じる。新しい土産品ブランドが認定されたようだが、販売場所も少なく、周知が足りていないと思う。

また、昨年の豪雨災害で鉄道が不通となり、国道の通行が規制されたが、瀬戸風線の事業は進んでいるのか。虹ヶ丘住民の方は早期実現を切実に願っていると思う。

●事務局

土産品ブランドは「光セレクション」のことと思うが、今後も認定商品を増やしていくように聞いている。商品によっては期間限定販売のものもあるため、PR方法が難しいところもある。

●事務局

瀬戸風線については、時期の詳細は申し上げ難いが、下松方面に降りるスロープを作るために海岸の準備工事に着手すると聞いている。瀬戸風線とは異なるが、災害時の国道188号の代替えとして、内陸部で光と下松を繋ぐ道路の整備を光市と下松市で連携して県に要望している。

旧光総合病院の跡地は病院局の財産になる。病院局も企業であるため、基本的には売却して債務償還に充てるスタンスであり、ニーズ等について病院局で調査・研究等しているが、都市計画上の制約もあるので条件面で制約があるのも事実である。

●委員

先日、再編統合が必要とされる公立・公的病院が公表され、光総合病院と大和総合病院も対象となっていた。2つの病院は急性期と慢性期で異なると思うが。

●事務局

光市で光総合病院を急性期、大和総合病院を慢性期に機能分化を図り、光総合については今年5月に移転新築したところであるため、光市としては国の発表に納得できない部分もある。病床の利用率が向上しない理由の1つに医師不足がある。医師を確保することができれば、経営面も改善できると考えるため、改めて国・県に医師確保の要望をしているところである。

●委員

浅江木園地区の県道整備は進んでいないように思うが、市も事業に関わっているのか。

●事務局

川園線の踏切のあたりのことと思うが、市も関わっている。都市計画上の見直しも行い、鉄道との立体交差によるアンダーパスで整備される予定である。

●委員

あのエリアは光市の中では店舗が集積しているので、うまく発展したらいいと思う。今は下松や広島など市外に買い物に行く人が多いと思うので、そうならないような魅力づくりが必要と思う。

●事務局

市民アンケートの自由記載欄でも大型店舗などを希望する声が見受けられる。ご提言として承る。

●委員

空き家バンクの活用状況は。

●事務局

バンクに登録する空き家物件の確保が課題であるが、現在は5件の登録がある。

●委員

市内にはたくさん空き家があると思うが。

●事務局

所有者の方が仏壇がある等の理由で売買・賃貸したくないという声も聞く。民間の不動産会社に仲介依頼しているので空き家バンクには登録しないという方もいれば、逆に、行政の方が安心ということで空き家バンクに登録する方もいる。市では、物件確保のため、中山間地域を対象に各地区のコミュニティと連携した空き家の掘起しに昨年度から取り組んでいる。なお、昨年度は空き家バンクを通じて4件の成約があった。

●委員

光駅の改修計画はあるのか。

●事務局

駅のバリアフリー化や、駐車場の配置など駅前環境の整備に向けたあり方を検討している。

●委員

光駅は橋上化したら虹ヶ丘からも遠回りせずに改札に行けるようになる。先日の下松駅のようにエレベーターを整備したらバリアフリー化もできる。また、昨年のも雨災害で光・下松間で土砂崩れが発生した場所は光市の所有地だと聞いたが、早めに対策したら同じことは起きないと思う。さらに、遠い将来の希望的な話になるが、防府駅のように駅前後の線路を全て高架にした、南北の分断もなくなってよいと思う。これらには費用がかかり、相手（鉄道会社）があることなのでうまくいくかは分からないが。

高校の再編統合について、新高校が光丘高校の場所なら市外から通学する生徒がいるので、個人的には光丘高校の場所になったらよかったと思う。

●委員

駅の整備費用の負担は市か、鉄道会社か。

●事務局

市、国、鉄道会社の負担と思われる。

●委員

段階的に事業が進んでいるのでいいことだと思う。市民にとってプラスになるような駅にしてもらいたい。

●委員

人を呼び込むためにも駅は「まちの顔」だと思うが、周辺の駅と比べても光駅だけ整備が遅れている。駅から天然の海水浴場まで徒歩5分というのは、観光の観点からも最高のロケーションなので、駅がうまくリニューアルできたらかなり人が集まると思う。また、企業の会合等で他県等から人が集まる際にも、光駅周辺に宿泊施設や飲食店が少ないので市外に宿泊するのが現状。玄関口である駅が変われば、人が集まると思う。

●事務局

さまざまな夢は描けると思うが、市としては財政面を踏まえながら取り組んでいくこ

とになる。

●委員

本庁舎の耐震化の話もあったが、災害時の指令拠点と思うが。

●事務局

現在、防災指令拠点施設の整備に向けた検討を進めているところである。

●委員

旧光総合病院の跡地はコンテストなどでアイデアを募って、クラウドファンディングで資金集めをしたらどうだろうか。民間事業者が海拔の低さを懸念することが想定されるが、建物の構造などさまざまなアイデアで対策することができると思う。

●事務局

病院局においてさまざまな検討をしているところである。

●委員

光市民ホールで光駅関係のイベントがあったようだが、どう活かされているのか。

●事務局

昨年度開催した、光駅周辺の未来を考えるシンポジウムのことと思うが、若者がワークショップで考えた意見の発表などが行われた。こうしたプロセスを経て、昨年度、光駅周辺地区に係る基本構想を策定している。その中の具体的な取組みとして、現在、光駅の整備について検討している。

●委員

光市の財政状況は。赤字なのか。

●事務局

赤字ではない。国が定める危険ラインを超えているわけではないが、将来的に光駅や本庁舎など各種施設の整備・更新等が想定される中、余裕がある状況でもない。

●委員

島田川河口の洲（千歳大橋・千歳橋の下あたり）は浚渫等しないと、昨年のような豪雨の際に不安である。

●事務局

野鳥保護の観点など、さまざまな意見があるところだが、現在、河口部から上流の周防立野橋～島田下林の約4キロ区間で緊急対策工事が行われている。県の話では、こうした対策により昨年と同規模の豪雨でも浸水被害が発生しないことが見込まれている。

4 その他

○ 事務局から今後の予定等について連絡

- ・次回開催は3月を予定している。

終了 19時30分